

# 議会だより

第50号

記念特集号

発行 安曇野市議会

平成30年(2018年)

5月2日

議会だより第50号記念特集 ..... 2

50人の市民の皆さんの声をお聞きしました

3月定例会で決まりました ..... 6

認定こども園と憲法9条の陳情

議会はここに注目!! 平成30年度一般会計予算 ..... 10

常任委員会報告 ..... 14

市政のここが聴きたい!! 一般質問 ..... 16

市民の声 ..... 24



議会や議員に

50号だから

50人に

聞いてみた!

望むことは?





はばっ  
派閥をなくして、市民の  
ために仕事をしてほ  
しい。



岸本 実さん  
(堀金)

規定でダメ、ではなく、  
困っている方がどう  
すれば助かるのか共  
に考えてほしい。



河原 淳史さん  
(穂高)

もっと子ども子育ての  
支援をしてください。  
議員の皆さんと保育問題  
などのお話をする機会  
がほしいです。



可児 萌さん  
(三郷)

これからも安心して農業  
をやっていけるように  
農業政策を充実して  
ほしい。



大倉 宗一郎さん  
(三郷)



フアドヌボ エネスさん  
(豊科)

フットサルがしたい  
ので、体育館の予約  
がもっと取りやすく、  
もっと安くできるよ  
うにしてほしい。

まちの歴史や史跡は財産。  
その資源を活かし、観光  
面でまちの活性化を希望  
します。



岩井 善一さん  
(穂高)

消防団活動が楽しい。  
子どもも大人も地域で  
伸び伸びできるように、  
地域活動を盛り上げる  
ように頑張してほしい。



帯刀 洋亮さん  
(三郷)

運転免許証を返上しても  
マレットゴルフに行ける  
ように、循環バスの工夫  
をしてほしい。



熊井 正敏さん  
(明科)

議員には、格好に気を  
遣わずに、長靴や作業着  
での地域に密着した活動  
や、何より誠実な行動  
を求めたい。



田口 美雪さん  
(穂高)

あまり安曇野市のこと  
を知る機会がないの  
で、ぜひ中学校に来て  
中学生にも知る機会を  
作ってほしいです。



丸山 成明さん  
(豊科)



北澤 千穂さん  
(穂高)

農業の仕組みや、情報  
連携の場を提供して、  
農業をしやすくして  
ほしい。



大月 典彦さん  
(明科)



平野 美香さん  
(堀金)

芸文協も高齢化。地域  
の踊り「あづみの明科  
音頭」は継承してい  
きたい。このような課題  
にも目を向けてほしい。

次世代に夢や希望が  
持てる魅力のある  
「まち」であってほしい。  
大きく期待しており  
ます。



松村 和楽さん  
(三郷)



# かがやく安曇野人!

## 議会・議員に望む



議会だより第50号記念特集

人材は財産。子育てに  
お金をかけ、「森友学  
園」の不正には、議会  
も議員さんも「おかし  
いぞ」の声を上げてく  
ださい。



田島 彰子さん  
(三郷)

行政が地元の個人商店  
を利用するよう促して  
ほしい。土日・祝日の  
保育可能施設ができる  
よう働きかけてほしい。

公共機関の足、「あづみん」  
のあり方をもっと住民  
(高齢者) サイドで考え  
てほしい。



菅沼 和子さん  
(豊科)

文化伝統を活かした  
環境整備とまちづくり  
を希望します(穂高  
神社の表参道)。



矢野口 富代さん  
(穂高)



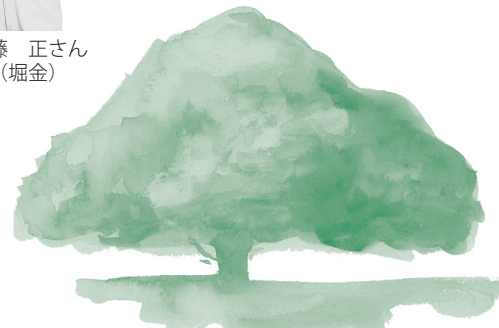
山本 愛さん  
(穂高)



齋藤 正さん  
(堀金)

安曇野市の農業振興に  
関する議員の勉強会を  
開いて、農政に対する  
チェック機能を果たし  
てほしい。

低所得の方が自宅で  
の生活を続けられるよ  
うに幅広い分野(介護・  
障がい)で支援が受けら  
れるようにしてほしい。



千野 力さん  
(豊科)

アルプス団地の県営住宅  
跡地を介護施設等に有効  
利用できるよう、力を入  
れてほしい。



赤澤 美代子さん  
(豊科)



佐野 友治さん  
(穂高)

市民に寄り添い、市民  
の要望・意見を市政に  
反映させるべく、働い  
てほしい。



土屋 一樹さん  
(三郷)

子どもたちが伸び伸び  
と過ごせる安曇野市で  
あってほしい。議会や  
議員はもっと身近な存在  
になって!



宮澤 英樹さん  
(穂高)

若い人にも親しみが  
感じられる議会に  
なってほしい。

志ある新規就農者に、  
スタート時の支援を厚  
くし、荒廃農地の解消  
などで農地を供給して  
ほしい。ワイン用ブドウ  
の一大産地の夢を見て  
います。



池上 文康さん  
(明科)

平成18年2月の創刊号以来  
興味を持って、親しみやすい内容  
を目指し、改善を繰り返しながら  
検討してきた「議会だより」も  
今回で50号を迎えました。  
議会だよりの目的は、議会での  
審議内容を市民の皆さんに  
伝えることにより、市政や議会  
に関心を持っていただくことに  
あります。これからも、市政発展  
を目指し、活発な審議を展開し  
「開かれた議会」の情報発信に  
努めてまいります。

### 第50号を迎えて

議長 小松洋一郎

# 議員に望む50のこと



全市一丸となって、出生率を向上させ希望あふれる安曇野市を目指してほしい。

「安曇野といったらこれ！」と言えるものがある住みよいまちづくりのために、市民と取り組んでほしい。



市と区の関係について対等なパートナーと言われているようですが、権限を有する市と何も区と対等な訳がない。議員、議会においてもっと中身のある議論をお願いしたい。



動物愛護のための施策を応援してほしいことと、市民運動会は全市一本で実行できればいい。



地域の声を大切にして、一日も早い一体感を！



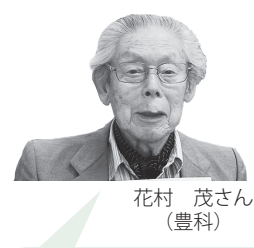
次の世代の人たちが「安曇野で暮らしたい！」と思えるまちづくりを市民と共にやってください！



音楽やアートに子供の頃から触れさせて、自分の考えを表現できる教育を目指してほしい。



一部地域の問題も市全体の問題と捉え、地元の声はもちろん、他地域の声も聞き、大切に考えてほしいです。



市民の声に耳を傾ける努力を。自分から積極的に市民の中に入って課題研究し、議会で改善してほしい。



年1回でもいいので、地元で議会報告会や懇談会をしてほしい。



箱物行政にストップをかけ、道路整備にもっと大きな予算がつくようにしてほしい。

50人の皆さんの年代構成は

90代	80代	70代	60代	50代	40代	30代	20代	10代	以下
2	1	10	11	10	6	6	1	3	
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4	2	20	22	20	12	2	2	6	
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
6	14	12	18	12	28	24	36		
%	%	%	%	%	%	%	%		

今回協力いただいた50人の皆さんにお聞きしました。  
 ・毎回読んでいます………  
 ・よく読んでいます………  
 ・ときどき読んでいます………  
 ・全く読んでいません………

安心して子どもが産めて、育てられる環境は十分だとは思いません。充実を願います。



地区の公民館で子育て支援サークルを15年間続けてきました。輪を広げてほしいです。



梓橋の渋滞の解消を望む。



お年寄りの足を確保してください。「あづみん」も使いやすく工夫して、松本の100円バスもいいかなと思います。



私たち市民も観光客も、自然豊かな景観を楽しめるように、電線・電柱を地下に埋めるよう働きかけてほしい。

市民が議会のことを知り、意見を言える場を作してほしい。

瀬川 恵美さん (穂高)



「目安箱」のような、不満とか要望など、まちの声が直接議会に届くような仕組みがあったらと思う。



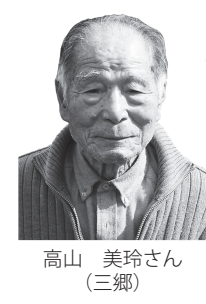
国政とちがいで、地方議会は良くやっていると思うので、今後もお願いしたい。



幼児教育の充実、子供の夢と希望をかなえる環境を整えてほしい。



一に憲法、二に憲法。憲法25条(生存権)を常に心に、議員さんには全市民の代表として、公正で公平な市政を目指してほしい。



芸能文化を多くの市民で楽しめる市民会館がほしい！この市民の声をくみ上げてほしい。



中学校のトイレに洋式を増やして、明るいトイレにしてほしい。街灯を増やして、犯罪のない地域にしてほしい。



身近な場所に、地域の仲間が集まって活動できる無料の施設がほしい。



地域農業を守る対策と、日本固有の伝統文化である神社を後世に伝えるための支援をしてほしい。



**第50号の発行に当たって**  
 議会広報特別委員会委員長 林 孝彦  
 今回の特集号には、議会や議員に対する市民の皆さんの生のお声をたくさん紹介させて頂いていただきました。また、委員会や本会議の討論で発言した議員名を載せ、傍聴もしやすいように次回の定例会の予定をカレンダー形式にし、紙面構成なども工夫いたしました。議会改革の一環として市民の皆さんに寄り添った議会だよりとなることをこれからも目指してまいります。

平成30年3月定例会が2月16日から3月19日まで開催され、平成30年度当初予算を含む議案52件、陳情3件を審議しました。

# 3月定例会で決まりました

# ましたー陳情をめぐる激論

主な議案等を紹介します

- ・全議案の審議の結果 → 12ページ
- ・議案ごとの賛否 → 13ページ

参照

補正予算  
審議

## 長峰荘の指定管理料を増額

指定管理料830万円の債務負担行為補正が可決されました。

可決

議案第28号  
平成29年度安曇野市観光宿泊施設特別会計補正予算(第2号)

### 反対の意見

小林 純子 廃止検討中の施設は、公共施設再配置計画の中で市民の声や要望に耳を傾け、理解を得ながら進めるべきだった。市長選のタイミングで再検討を約束するような場当たりの対応に反対する。

### 賛成の意見

宮下 明博 明科地域で長峰荘を存続する強い気持ちがある中、廃止か譲渡の条件も話し合われてこなかった。今の段階では債務負担行為で延長するより方法はなく、今後1年の中で考えていくべきだ。

松枝 功 現在の指定管理業者に1年間の延長を依頼するに当たり、標準的管理経費である現在の1.6倍の増額予算は必要。1年間で全市的な財政改革の視野にも立ち、可能な形態を決めなければならないと認識している。



長峰荘の今後は？

指定  
管理

## 長峰荘の指定管理期間を1年間延長

議案第47号  
公の施設の指定管理者の指定期間の変更について(安曇野市長峰荘)(指定期間を1年間延長し、平成31年3月31日までとする議案)

可決

## 穂高プールの指定期間を1年間延長

議案第48号  
公の施設の指定管理者の指定期間の変更について(安曇野市穂高プール)(指定期間を1年間延長し、平成31年3月31日までとする議案)

可決

陳情  
審議

平成29年 陳情第8号  
児童クラブ受け入れ拡大について(学校の空き教室等を利用して、児童クラブの受け入れを小学6年生まで拡大してほしいとの陳情)

採択

陳情  
審議

陳情第1号  
安曇野市立認定こども園の民営化及び統廃合についての陳情書(市立認定こども園の民営化と統廃合について、十分丁寧な説明と慎重な議論を求める陳情)

採択

### 反対の意見

山田 幸与 中長期ビジョンは、大きな枠組みの方向性である。本陳情が採択されれば、市全体の将来計画の大幅な遅れが生ずる懸念がある。人口減少問題は喫緊の課題であり、一部の園の個別的問題で市全体の将来計画が遅れることは許されない。

### 賛成の意見

猪狩 久美子 陳情は認定こども園の民営化、統廃合の結論を求めているものではない。中長期ビジョンは、素案の段階で十分納得がいくまで議論を重ねるのは当然のことではないか。一部の園と言うが、統廃合、民営化の問題は一部の問題ではない。

増田 望三郎 陳情の趣旨は、民営化や統廃合方針について慎重かつ十分な議論をしてほしいということで、これは保護者の皆さんの当然の思いである。拙速な方針決定こそ、かえって子育て世代に選ばれない地域、市になってしまう。



三郷西部認定こども園

陳情第2号  
憲法9条を変えないこと及び憲法を生かす政治の実現を求める陳情書

不採択

### 反対の意見

召田 義人 戦後72年平和であったのは、日米安保と憲法9条に守られてきたからである。憲法の基本原理、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を堅持しつつ、自衛隊を合憲化するために書き加えるということである。国の動向を見て議論すべきだ。

### 賛成の意見

猪狩 久美子 安倍首相が自衛隊を憲法に書き込んでも任務や権限に変更はないと言っているならば、9条を変える必要はない。自衛隊を書き込めば2項は空文化され、安保法制の下で無制限な武力行使に道を開くことになり、国民の基本的人権が制限される。

中村 今朝子 陳情者は自衛隊はいらない、災害時に自衛隊が活動することはおかしいと言った。これに大変違和感を覚えた。憲法9条に自衛隊を書き込むかどうかについては、これからしっかり議論していくことが必要。

小林 純子 自衛隊の憲法への明記は、9条2項の削除につながり、軍事国家へ変える危険がある。外交努力によって国際平和に貢献すべきだ。憲法の改正権は国民にある。国に意見書を提出することは推奨されるべきだ。

遠藤 武文 憲法改正について、間接民主制の市議会が一方の意見を取り上げることは、改憲が直接民主主義による憲法の法意に照らして許されない状況を招く。陳情書にある意見書は、地方自治法99条が想定しない抽象的な事件というべきで、憲法の趣旨に反する。

白井 泰彦 陳情は、自衛隊の合憲、違憲を問うていない。9条改憲の議論は国民から始まったものではない。国民主権の立場からものを言うことも、議会で議論するのも当然である。自民党の憲法案は、集団的自衛権を認めるもので、危険な内容である。

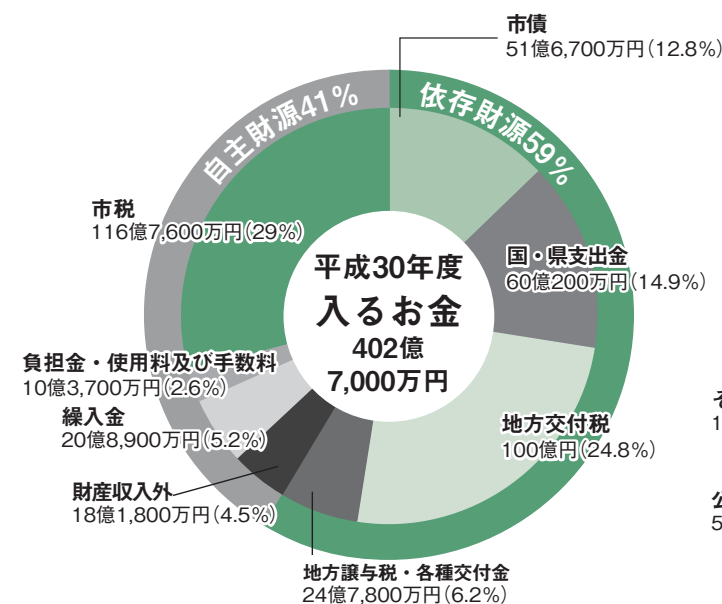
竹内 秀太郎 憲法9条1項では武力行使を放棄としているが、現実には自衛戦争を認めている。9条2項では戦力を保持しないとしているが、自衛隊は立派な戦力である。憲法9条の内容と現実が大きく違っているので、9条の内容を改正すべきである。

井出 勝正 憲法では、国民の不断の努力で憲法を守り地方自治は国が間違った方向を持った時はそれに反対する議決ができるとうたっている。9条の下、専守防衛に徹してきた。日米安保によって戦争に巻き込まれるのを止めてきたのが憲法9条である。

# 一般会計予算の内訳はどうなっている？

歳入（お金の入り）の41%が自主財源  
残りの59%は依存財源となっている

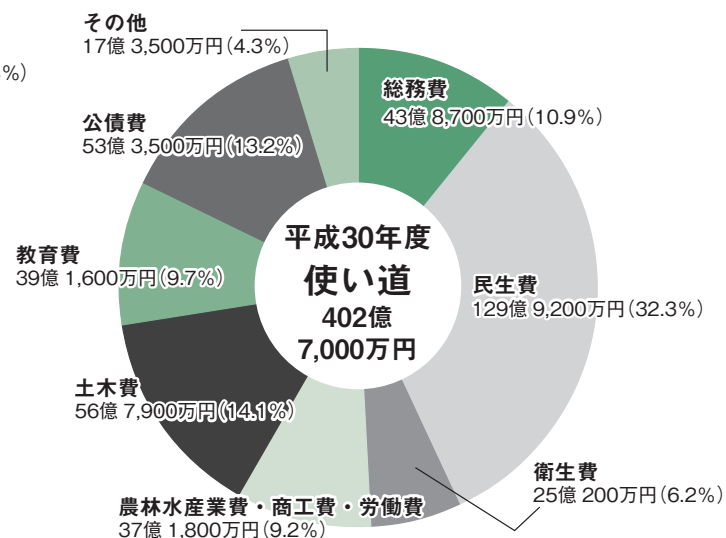
## 平成30年度 一般会計歳入構成比



※百万円未満は端数切り捨て、自主財源・依存財源の割合は小数点第1位未満は四捨五入のため、合計と一致しない

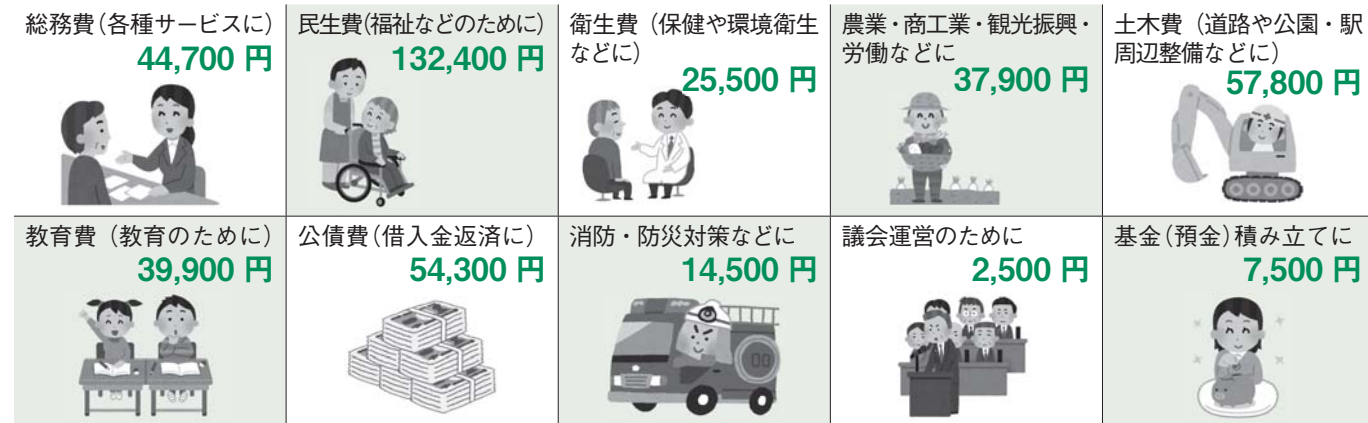
**自主財源、依存財源とは？**  
自主財源は地方公共団体が自主的に調達できる財源。一方、依存財源は国や県に依存する形で調達する財源。地方交付税や国庫支出金、また、地方債もそれにあたる。

## 平成30年度 一般会計歳出構成比



## 一般会計予算の 使い道 市民一人当たり 約41万円

人口98,110人で計算（平成30年3月1日現在）※100円未満は端数切り捨て



**参考** 平成30年度末の一般会計の市債（借金）残高見込みは約426億円。1人当たりの市債（借金）残高は43万4,200円になります。

## 条例 改正

### 介護保険料を改定

議案第8号  
安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例

可決

#### 反対の意見

白井 泰彦 条例の改正は、介護保険料を5.6%、所得によって10%近く値上げするもので、年金が減らされ、消費税率が10%となる予定の中、年金生活者にさらにつましい生活を強いるものである。

#### 賛成の意見

遠藤 武文 高齢化が進む中で、介護費用の増大により保険料が膨らむことは避けられない。国の財政が厳しい中、公費負担額を増やすことは現実的でない。サービスの縮小はすでに進んでおり、介護保険事業計画に合わせた基準額の見直しは必要である。

### 国民健康保険の会計が県単位化に

議案第12号  
安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

可決

#### 反対の意見

井出 勝正 加入者の年齢構成が高いので医療費が高くなる、所得水準も低いので会計が厳しい、収納率も悪くなるといった国保会計の構造的な問題点は、国保会計の県単位化では解決できない。国庫負担水準を戻す、増やす声を大きくしていくべきだ。

#### 賛成の意見

小松 芳樹 反対討論のように国庫負担を戻すとすると、国税は消費税をとるしかないの、反対討論の人が消費税に反対していることと矛盾する。国民健康保険はよくできたシステムであり、この安定的な持続可能なシステムのために条例改正は必要である。

## 計画 制定

議案第46号  
第2次安曇野市総合計画基本構想及び前期基本計画について

可決

#### 反対の意見

猪狩 久美子 地下水の適正利用を促すだけでなく、汲み上げの上限規制を設けることが必要である。コンパクトなまちづくりの推進において、周辺部の集落の未来についてどう考えているのか明らかでない。インター東の開発は民間任せで、まちづくりの市の考えが見えない。認定こども園の民営化のメリットが見えない。国体基準を備えた体育館の建設を市民は望んでいない。

#### 賛成の意見

坂内 不二男 人口減少時代に向けた第一歩となる総合計画となる。行政サービスの内容は、総体的に行政の継続性から見てよいと考える。保育に関しては、多様化する保護者の要望に応えるには、民間活力の導入は必要である。新総合体育館の整備については、その都度関係計画に位置付けられてきた経緯がある。

## 平成30年度 特別会計予算&企業会計予算

特別会計・会計名	歳入歳出予算額
国民健康保険特別会計	104億7,042万円
後期高齢者医療特別会計	11億3,436万円
介護保険特別会計	92億1,541万円
上川手山林財産区特別会計	214万円
北の沢山林財産区特別会計	95万円
有明山林財産区特別会計	95万円
富士尾沢山林財産区特別会計	77万円
穂高山林財産区特別会計	93万円
産業団地造成事業特別会計	115万円
観光宿泊施設特別会計	2,078万円

企業会計・会計名等		予算額
水道事業会計	収益的収入	23億2,390万円
	収益的支出	18億7,969万円
	資本的収入	5億1,619万円
	資本的支出	19億1,431万円
下水道事業会計	収益的収入	44億4,901万円
	収益的支出	37億8,686万円
	資本的収入	8億1,122万円
	資本的支出	24億4,861万円

(万円未満は切り捨て)

# いかがでしょうか？ 新年度“402億 ～安曇野市平成30年度一般会計予算

# “円” 私たち市民のお金の使いみち 総額402億7,000万円を可決～

## 議会はここに注目！！



南部総合公園体育施設建設予定地

### ●観光の受入体制整備 事業に注目！

**問** 山岳観光では中高年の登山者が多い。携帯電話の電波不感地帯の解消はどうなるのか。GPS機能も連動したスマホでの入山登録はできないか。

**答** 不感地帯は解消されているエリアもある。環境省、電気通信事業者、山小屋関係者との協議が進められており、検討を進めていく。入山登録は県のホームページからスマホ、パソコンで申請が可能である。

### ●住宅管理費に注目！

**問** 市営住宅戸数も団地数も減っているが、社会情勢から考え、長寿命化と合わせて新規建設が必要ではないか。

**答** リフォームと建て替えの必要戸数の見極めが難しい。市が市営住宅を造ることにより民業を圧迫してはいけないという面もあり、整備については様々な角度からの研究が必要。



### ●財政に注目！

#### 反対の意見 井出 勝正

28年度決算で連結841億円の借金。30年度の一般会計の地方債残高の見込みが約426億円。財政見通しでも、しばらくは増える状況にある。監査報告でも財政力が弱くなっており、弾力性を欠き一般財源に余裕がないとの指摘もある。不要不急の建物は必要最小限に見直すべきで体育館も身の丈に合ったものにすべきである。

#### 賛成の意見 山田 幸与

新規事業や既存事業のパワーアップを図る中で行政のスリム化に取り組み、普通交付税減額への対応、基金繰入の抑制が図られ、健全財政の堅持、将来を見据えての予算編成である。

### 活力あるまちづくり

- ・しごと創出事業 2,333万円  
若者及び女性の起業支援と空き店舗活用促進の補助金を交付し、コンパクトシティを目指す
- ・地域資源活用型連携推進事業 312万円  
農商工連携モデル事業として、地域おこし協力隊員を活用し、安曇野産クラフトビール事業を進め、地域活性化を図る
- ・観光の受入体制整備事業 5,785万円

### 安全・安心なまちづくり

- ・乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業 105万円  
紙おむつを利用する2歳未満の乳幼児保護者を対象に、ごみ指定袋を現物支給する
- ・都市再生整備計画事業（明科駅周辺）1億5,700万円  
明科駅周辺地区整備により、市の東玄関口の活力あるまちづくりを進める
- ・内水対策事業 1,015万円  
万水川下流域における内水対策を進める

### 協働によるまちづくりと行財政基盤の強化

- ・まちづくり推進会議の運営 45万円  
地域課題の解決に向けて検討を行う
- ・移住定住促進事業 459万円  
移住セミナーやおためし住宅、地域おこし協力隊を活用して移住者を呼び込む

### 豊かな人を育むまちづくり

- ・ホストタウン推進事業 397万円  
東京オリンピックに向けてオーストリアカヌー連盟から選手等の受け入れを行い、国際交流を図る
- ・文書館施設運営管理事業 4,204万円  
文書館を開館し、重要文書の適切な保存や公開をし、郷土の歴史と文化を継承し、後世に伝える
- ・南部総合公園体育施設建設事業 2億5,673万円  
実施設計の作成、測量・地質調査等を進める

### 健康長寿のまちづくり

- ・アクティブシニアがんばろう事業 778万円  
健康づくりの活動を定期的に行う団体を支援し、健康長寿の増進を図る
- ・健康ポイント事業 201万円  
市の各種検診等を受診した国保加入者にポイントを付与し、特典に交換することで健康意識の向上を図る

### ●文書館費に注目！

**問** 文書館が整備されることで教育普及事業がどのように行われるのか。

**答** 来館者が館内の端末から検索し閲覧できるようにする。重要文書を残す意義を市民に理解してもらい取り組みが欠かせない。所蔵する資料を展示や講座、文書館便りなどを通じて伝えていく。

#### 賛成の意見 一志 信一郎

当初予算の基本方針の重点に、これまでに整備した施設の有効活用を図り、ソフト事業の一層の充実を図るとある。旧堀金公民館を文書館に改修し、教育普及事業や各種の講座が行われ、郷土への愛着、関心を高め、歴史文化を継承する事業がある。

### ●南部総合公園体育施設 建設事業に注目！

**問** 整備費用上限38億円としてきたが、備品購入費1億5,000万円は別枠となるのか。また、備品購入費にトレーニング室の機器は含まれるのか。

**答** 備品代と整備費用は別枠である。トレーニング機器代は備品購入費に含まれない。

#### 反対の意見 増田 望三郎

38億円と維持管理費6,300万円かかる新総合体育館を造らなければ、地域施設の存続の余地もあると考える。規模縮小と経費削減を訴える。

#### 反対の意見 小林 純子

大規模体育館建設は市の将来の財政負担になり、市の最重要課題である公共施設の再配置計画の方針と矛盾し、住民福祉の低下を招く。

#### 賛成の意見 松枝 功

体育館計画と再配置計画は矛盾しない。市民福祉の向上のために必要で市民合意を得た施設建設は周到な準備のもと、果敢にすすめるべきだ。特例債期限内の建設でもある。

議案等の賛否一覧（賛否が分かれた議案等）

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：退席 議：議長

Table with columns for 議案番号, 議案名, 議決日, 議決結果, and 議員名 (小松洋一郎, 内川集雄, etc.).

議会広報特別委員会 視察報告

- 2月5日 視察先 山梨県上野原市議会
目的 議会だよりの編集について
2月6日 視察先 埼玉県鴻巣市 (株)会議録センター
目的 議会だよりの編集に関する研修会



会議録センターでのワークショップ

クローズアップ 市民をひきつけ、読まれる議会だよりに！

上野原市議会だよりの特長

- ・予算・決算特別委員会の内容は注目記事にする。
・できることはすぐに取り組み。
・特集記事「うえのはらで頑張る人」をシリーズ化する。
・余白を大切に。

(株)会議録センターでの研修

- ・講義「記事の取捨選択のポイント」「住民参加型の紙面づくり(事例紹介)」
・紙面クリニック(安曇野市議会だより最新号(第48号)を中心に)
・レイアウトワークショップ(安曇野市議会だより第46号の予算記事をグループごとに再構成)

詳細な視察報告書はQRコードから議会ホームページへ



まとめ

- ①第50号から取り入れる項目
・50号目の記念特集号として市民の声を取り上げる。
・特集記事と表紙を連動させる。
・表紙のレイアウトや字体を変え、目次・トピックスを見出し化する。
・一般質問の問と答の答弁者を、農林などの2文字(※16ページ右欄外参照)で表記する。
・討論で発言した議員名を掲載する。
・次回の定例会予定をカレンダー形式で載せる。
②今後検討したい項目
・テーマに関わる市民にインタビューした特集記事をシリーズ化する。
・現行は議員の手作り編集だが、専門業者による編集も検討する。

報告事項

Table with columns for 報告番号, 件名, 結果. Items include 専決処分承認の承認を定めることについて, etc.

総務・政策・財政・環境

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Items include 安曇野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例, etc.

健康・福祉

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Items include 安曇野市立認定こども園条例の一部を改正する条例, etc.

教育

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Items include 安曇野市図書館条例, etc.

産業・経済・観光

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Items include 安曇野市農業振興地域整備促進協議会設置条例の一部を改正する条例, etc.

建設・水道

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Items include 安曇野市都市公園条例の一部を改正する条例, etc.

陳情

Table with columns for 陳情番号, 件名, 結果. Items include 児童クラブ受け入れ拡大について, etc.

福祉教育



福祉教育委員会では、2月14日に陳情1件を、2月21日に付託された平成29年度安曇野市一般会計補正予算（第5号）を含む議案3件を、3月8日に平成30年度安曇野市一般会計予算を含む議案16件と陳情1件を、3月9日に平成29年度安曇野市一般会計補正予算（第6号）を審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→12ページ

平成29年 陳情第8号

児童クラブ受け入れ拡大について

- ・学校内に放課後児童クラブがあることの利点は大きい。空き教室等を利用して6年生までの受け入れ拡大を進めるべき。
- ・他市町村と比べ入所基準が厳しいので、併せて調査・検討してほしい。

全員賛成  
採択  
すべきものと決定



豊科東小学校児童クラブ

平成30年 陳情第1号

安曇野市立認定こども園の民営化及び統廃合についての陳情書

- ・陳情の願意は、市の十分な説明と市民を交えた議論を求めるものだ。丁寧な進め方をしていくことを望む。
- ・少子化を直視しながら、これからの市を大きくとらえて議論し、考えていかなければならない。

全員賛成  
採択  
すべきものと決定

議案第7号

安曇野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

賛成多数  
可決  
すべきものと決定

反対の意見

猪狩 久美子 地域住民の自発的な活動のサービスを条例化する必要はない。福祉用具の貸与は必要性があって利用するので、条例化されると利用抑制につながる心配がある。

賛成の意見

中村 今朝子 県から市に移行される条例の一つである。福祉用具の貸与等は本人に合うものを検討することが大事。利用抑制にはつながらない。



福祉用具の貸与は？

議案第48号

公の施設の指定管理者の指定管理期間の変更について(安曇野市穂高プール)

- ・1年間指定管理期間が延長された中で、市民に広く意見を聞いて廃止か存続かを検討するにあたり、施設のライフサイクルコストを算出すること、廃止・存続の基準と考え方のプロセスをあらかじめ示すことの2点を、遅くとも6月議会までには提示するよう要望が出された。

全員賛成  
可決  
すべきものと決定

総務環境



総務環境委員会では、付託された平成29年度安曇野市一般会計補正予算（第5号）を2月21日に、平成30年度安曇野市一般会計予算を含む議案5件と、陳情1件を3月7日に審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→12ページ

議案第2号

安曇野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

消防団員の家族に対する公務災害補償費が改正されます

賛成多数  
可決  
すべきものと決定

反対の意見

白井 泰彦 今回の改正では補償費として、子は引き上げ、配偶者は引き下げることにについて、国の一般職の給与改定によることとはいえ、合理的な説明も行われず納得ができない。

議案第46号

第2次安曇野市総合計画基本構想及び前期基本計画について

総合計画が新たに議決事項となり、はじめての審査となりました

全員賛成  
可決  
すべきものと決定

問 生活困窮者への支援について具体策の進め方は。

答 生活保護世帯になる前に、民生児童委員を中心に地域連携し、市も関わって進める。

問 安曇野インター周辺の開発について、市の関わり方はどうなのか。

答 市は地権者組合の意向を確認しながら、開発の許可行為や周辺道路の調整を進めていく。

陳情第2号

憲法9条を変えないこと及び憲法を生かす政治の実現を求める陳情書

活発な意見交換と討論があり、審査を継続したいと意見が出たが、引き続き審査し、不採択となった。

賛成少数  
不採択  
すべきものと決定

経済建設



経済建設委員会では、付託された平成29年度安曇野市一般会計補正予算（第5号）を含む議案11件を2月21日に、平成30年度安曇野市一般会計予算を含む議案17件を3月9日に審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→12ページ

議案第28号

平成29年度安曇野市観光宿泊施設特別会計補正予算(第2号)

長峰荘の指定管理料を今までの年間520万円から平成30年度に830万円にしたのは、施設を1年間運営してもらいながら議論するのが妥当として可決した。

全員賛成  
可決  
すべきものと決定

議案第49号

公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市三郷やすらぎ空間施設)

平成30年4月より指定管理者を株式会社王滝にすることについて審査した。名称は「信州安曇野そばの郷」で、そばを中心にワサビ、信州サーモンを活用し、古民家での食を通じて安曇野の歴史を感じてもらおうこと等がコンセプトとして提案された。

全員賛成  
可決  
すべきものと決定



★答弁者の表記★

市長→市長 副市長→副市長 教育長→教長 総務部長→総務 政策部長→政策 財政部長→財政 市民生活部長→生活 福祉部長→福祉 保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部



政和会 平林 徳子

### 三郷西部・東部認定 とも園の建設は



清政会 山田 幸与

### 将来を見据えた財政運営 と行政のスリム化を



**問** 市立18園のうち、三郷西部・東部認定とも園2園のみがまだ未整備である。その建設について伺う。

- ①老朽化による設備面の不備②耐震性、安全性③公平性

**市長** 尊重するべきだが社会情勢が大きく変化した。行政改革推進委員会の民営化に関する答申もあり、2つの答申を踏まえ、合意形成を図る。財源についてはどうか。

**市長** 建設は合併特例債と施設整備事業債の借り入れで実施。合併特例債の5年間延長は国会を注視する。公共施設整備基金の充当も可。民間が国の補助で施設整備を行う方が市の負担が少ない。最も有利で持続可能な園の経営について検討を加えたい。

【その他の質問事項】  
○人口減少対策について

**問** 平成28年度決算では市の財政力指数は3年連続で低下し、さらに経常一般財源比率は高い数字となっている。また、経常収支率も上昇傾向にある点から、今後の財政運営は決して楽観視できない状況にあると考えるが。

**市長** 指摘のとおり、私もそう緩やかな余裕のある財政ではなく、一時的には大変厳しくなる時期もあると認識している。そんな中で行政改革に取り組み、見直すべきところはしっかりと見直していきたい。

**市長** 指摘のとおり、私もそう緩やかな余裕のある財政ではなく、一時的には大変厳しくなる時期もあると認識している。そんな中で行政改革に取り組み、見直すべきところはしっかりと見直していきたい。

【その他の質問事項】  
○水道料金の統一に向けて

**市長** 廃止するとは言っていない。継続させるために特色ある保育、保護者のニーズに応えることに時間をかけて地域の皆さんと考えたい。

**問** 三郷地域保育園建設検討委員会の答申を尊重し、西部・東部を整備するべきであると考えが。



安曇野の宝 子供たち

**市長** 指定管理者に負担をできるだけ強いることのないよう指定管理料を見直す中で、長峰荘の運営を続けてもらう。全市的な財政改革の視点に立つて、地域住民の皆さんの



廃止予定の豊科南社会体育館(左)と豊科武道館の剣道場(右)



清政会 一志 信一郎

### 魅力あるまちづくりで ふるさと納税日本一を



**問** 地域の魅力を發揮し、ふるさと納税日本一となるためのアイデアについて伺う。

**市長** 合併10周年を機に返礼品として工業製品を含めた地域産品を取りそろえた。平成27年度には寄附額が7億円、28年度は8億円を超えた。29年度は、1月末現在で28年度を約2900万円ほど上回っている。30年度から全ての返礼品の割合を3割以下に改める方針。農産物工業製品も、この地域で生産製造されたメイドイン安曇野。これらの返礼品を送り、安曇野市を全国に発信し、PRすることにより、さらに地場産業の活性化、雇用の促進、地域振興につながっていく。今後は寄附の使い道を明確に示し、より魅力のある地域産品を返礼品とし、寄附者とのつながりを大切に取る取り組みが必要である。寄附者の皆さんに満足してもらい、多くの寄附が集まり、皆さんとの連携、人間関係を密にし、安曇野市を訪れて、また訪れてみ

**問** 市の幼児教育・保育に対する考え、とも園の統廃合や民営化がもたらすものをどう考えるか。

**市長** 市内で製造されたパソコン、時計などの返礼品は、地域活性化・雇用促進の観点から継続を考えており、返礼品へ何らかの表示をする転売防止の方法を関係事業者と協議している。また、クラウドファンディングや宿泊型返礼品といった新たな魅力ある返礼品の検討を行っている。

**市長** 平成28年度までは西部も東部も設計画にあったが、平成29年度設計画と素案との整合性を図るため、いったん実施計画から削除し、地元や保護者の意見を聞き、将来を見据えた形態を慎重に検討する。財政調整基金を取り崩して建設費に回す考えはない。

**福祉** 市民の意見を聞いている最中。その中で検討する。

【その他の質問事項】  
○平成30年度予算の問題  
○国保会計の県単位化について



ふるさと納税の返礼品

**市長** 民営化の実施計画は中長期ビジョンの一部、素案と合わせて公表すべきだと考えた。公表の時期が問題ではなく、議論してもらったため、拙速な結論は避けたい。

**問** 西部や東部認定とも園は、ビジョンでは大規模改修や建設にもなっていない。差別ではないか。財政調整基金を使って西部・東部認定とも園建設基金をつくらせて市民に示すべきではないか。



西部認定とも園 盛り上がる運動会

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)

★答弁者の表記★

市長→市長 副市長→副市長 教育長→教育長 総務部長→総務 政策部長→政策 財政部長→財政 市民生活部長→生活 福祉部長→福祉  
保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部



公明党  
中村 今朝子

### 安心・安全な まちづくりのために



**問** 東日本大震災から7年、災害はいつどこで起こるか分からない。「こ

こは大丈夫」「自分は大丈夫」という人間の特性を打ち破ることが必要。地域防災力の向上について、見解を伺う。

**市長** 出前講座、住宅の耐震改修、防災用品の購入など、助成制度を活用して、いざという時に備えてほしい。平成32年度に防災マップを改定して全戸配布する。

**問** 小中学生の全教科の中で、学校ぐるみの防災教育が大切と思うが。

**教長** 新学習指導要領の中でも、災害に適切に対応する能力の基礎を養うことが示されている。重点課題の一つとして進めていきたい。

**保健** ロタは国で定期化に向け検討している。国の動向を注視していく。

**問** 学校での心肺蘇生、AEDの知識と技能を体系的に普及する心肺蘇生教育が必要だと思う。現状を伺う。



**教長** 教職員への蘇生講習は実施しているが、児童・生徒は行っていない。新指導要領に必要性が示されている。適切な指導を指示していく。



清政会  
林 孝彦

### 地域公共交通の拡充と 福祉的活用の促進を



**問** 促進の目標と取り組みは。

**市長** 平成30年度から政策経営課に交通政策係を配置し、検討する。

**問** 「あづみん」の増便、土曜日運行、エリア間の利便性向上、予約の取りやすさの改善等の充実を。

**政策** 増便と土曜日運行は費用対効果で検討。飛び地運行を医療機関に限定し、10月から運行開始。比較的予約がすいている午後を周知する。

**問** 定時定路線ワゴン拡充やスクールバス活用拡大や松本のタウンズニーカーのような周遊バス導入を。

**政策** 拡充ではスクールバスへの混乗も検討する。循環型バスの運行は客観的なデータに基づいて検討する。

**問** 障害者外出支援利用券等のタクシー券や、交通費の助成を利用した福祉タクシー等の充実と、デマンド型乗り合いタクシー「あづみん」の福祉的活用の促進を。

**福祉** 障がい者の外出支援等に寄与している、今後も継続して実施する。



デマンド型乗り合いタクシー「あづみん」

**政策** 「あづみん」は福祉的役割も担う。



清政会  
竹内 秀太郎

### 新総合体育館建設費 市の負担額大幅削減へ



**問** 以前から情報収集に努め、合併特例債以外に、国の補助金導入を訴えたが、市は県との相談で終わり、国へは行かなかった。そこで、平成28年度に会派「信誠会」の皆さんと国へ研修に行き、社会資本整備総合交付金の対象になることを知った。そのことを市長に報告し、市は平成29年度、国に申請した。会派「清政会」は本年1月に、国土交通省の担当課長を訪ね、陳情する中で40%の交付が期待できると感じた。そこで、市の借入金、自己資金の削減効果について伺う。

**市長** 県庁へ出向いたおりには、関係部署にお願いを続けていきたい。

**入浴料金割引交付金事業の見直しを**

**問** 枚数の少ない無料券と枚数の多い割引券の2種類から市民が一方を選択する方法を提案する。

**市長** 始まったばかりの事業であるので、どういった方法がよいかを検討させていきたい。

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、



政和会  
小林 陽子

### 「安曇野ブランド」とは 何か



**問** 「安曇野ブランド」をひと言で表すと何か。

**市長** ひと言で表現するのは難しいが、市制施行10周年記念事業で制定したロゴマークとそのキャッチコピー「朝が好きになる街」は、安曇野の山岳、田園風景、湧水、農産物が想像できるものではないか。

**問** 外国人宿泊者数の評価と滞在型観光のビジョンは。

**農林** 中信地域への誘客と観光資源の効果的発信が課題。市内外の関係団体と連携し、案内の英語表記、英語観光マップ作製、受け入れ環境の整備や情報発信に取り組みたい。

**問** 中信地域への誘客と観光資源の効果的発信が課題。市内外の関係団体と連携し、案内の英語表記、英語観光マップ作製、受け入れ環境の整備や情報発信に取り組みたい。

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、

**農林** 平成27年度から農家民宿での首都圏・関西圏の学生の受け入れや市指定管理宿泊施設の宿泊者向け農業体験を実施している。四月から地域おこし協力隊員も加え、農業体験メニューの充実周知を図り、農業振興・滞在型観光につなげたい。

**問** 「朝が好きになる街」実現のため、市のHPトップにも表示し、あらゆる機会です市長を先頭に徹底し、



新総合体育館外観イメージ



農家民宿でのアスパラガスの収穫体験

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)



政和会  
遠藤 武文

### 自転車活用推進法 本市の取り組みは



**問** 市は、シェアサイクルの実証実験を準備している。穂高駅前にはレンタサイクル店があるが、民業圧迫にならないか。

**商工** 昨年本市を訪れた観光客は500万人を超える。約8割が日帰り。観光消費額が伸び悩み、周遊型滞在観光の促進に向けて観光2次交通の拡充は大きな課題。金沢市や甲州市（山梨県）などの視察には、市内レンタル事業者にも参加してもらい、協議して取り組んでいる。

**問** 全国各地でサイクルツーリズムによる地方創生が図られている。自転車ですぐにめぐって自然や文化に触れてもらい、住民との交流を深めてもらうサイクルツーリズムの推進を要望する。

**商工** スマートフォン向けの地図アプリの作成を進めている。自転車向けのモデルコースを設定し、回遊性を高める。宿泊とサイクリングとの旅行プランや地域住民との交流の場の創造に向け、観光協会やレンタサイクル事業者、宿泊事業者



穂高松本塩尻自転車道線 市内域は完成済み

と連帯感を持って進めていきたい。人口減少時代だからこそ、まちは元気でいなければならぬ。まちは元気にするために自転車で外国人を誘客するのはうってつけではないか。

**商工** 海外での営業活動を関係事業者とともに年に複数回実施している。サイクリングツアーも大きな売り込みの素材として今後積極的に売り込んでいきたい。また、Wi-Fi環境の整備を進めている。看板の英語表記等をこれから逐次進めていく。



日本共産党  
安曇野市議団  
白井 泰彦

### 「あづみん」の運行見直し 利便性は高まるか



**問** 掘金地域を1台にする等による利便性、掘金地域と穂高地域の境界線が医療機関の敷地の境界と一致している場合でも往復600円の負担となること、掘金地域で利用者減となった場合について伺う。

**政策** 穂高地域に1台回すと、予約しにくい状況は緩和する。待ち時間解消のため、スマホに車両位置連絡システムの導入を検討したい。大系線利用者の「あづみん」連絡に関しては、誠意を持って対応する。

### 道路反射鏡は防曇型を

**問** 防曇型（霜で曇らない）でない反射鏡の平成28年度設置理由を伺う。

**建設** 平成22年度以降、新規は防曇型が基本である。陽が当たり、曇りのおそれ低い場所は通常型もある。防曇型は重いので、安全を考えると通常型の場合がある。

**問** 「陽が当たり、曇りのおそれが低い」では、霜で曇っている時間帯は反射鏡の用をなさないので、設置基準としてまずいのではないか。既



さらなる利便性が求められる「あづみん」

**問** 地元産の使用率、自給率向上について伺う。

**教部** JAや直売所等（中間組織）からの給食に使用できそうな農産物の提案を献立に反映していきたい。

### 学校給食の地産地消について

存利用の電柱に防曇型でない物が付いているのはなぜか。  
**建設** 電柱の部分は、強度的なものを確認できないので答えられない。



日本共産党  
安曇野市議団  
猪狩 久美子

### 市民の暮らし・願いに 向き合う市政を



**問** 長峰荘、穂高プールの指定管理期間を1年延長したが、平成30年度中にどういったことを行っているのか。廃止を前提に議論をするのか、存続していく姿勢で臨むのかを伺う。

**市長** 長峰荘については廃止ありきの結論ではない。全市民的な立場に立脚し、地域の皆さんの理解を深める議論の場を設け、合意形成を図っていく。穂高プールについては、利用状況の把握、意見収集を行なっていく。

### 公共施設の統廃合について、今後の取り組みは

**問** 合併前から地域の拠点となってきた公共施設の廃止は反対が多い。なか、市民も共通認識にしていくなければならないか。今後の統廃合問題をどう進めるのか。

**総務** 廃止を予定する施設については、市民や利用者により早く説明を開始し、時間をかけ丁寧な説明を行



### 介護報酬改定による生活援助の内容は

なっていく。3月発行の広報で特集を組み、周知していく。またこの広報を活用し、出前講座として地域に出向き説明をする。

**問** ヘルパーなどが行う生活援助だが、厚労省が定めた回数以上を利用する場合、事前に届け出をし、妥当性をチェックするというが、回数が制限される可能性はないか。ケアプランの適正化を進めるもので、回数の多さのみを捉えてサービスを制限するものではない。



公明党  
小松 芳樹

### 地域経済牽引のための 法施行で企業誘致は



**問** 地域未来投資促進法の施行を受け、本日まで市の取り組みは。

**市長** この法制度や地域経済牽引について、ホームページや産業振興ポータルサイトに掲載するとともに、産業支援コーディネーターによる企業訪問、商工会を通じての企業への周知を図った。そして取り組みに向けた誘導を図るため、用地取得に対する新たな助成制度を構築し、新年度予算に計上した。

**問** 本市では、かんがい排水事業用地、いわゆる青地が多いが、農振除外をして開発できる可能性は。

**市長** 促進法による支援の一つに規制の特例措置があり、農地法・農振法などの規制の配慮が受けられる。この配慮を受けるために、まず国の同意を受けた松本地域の基本計画に市の重点促進地域を定める必要がある。

**問** 開発が容易になり、企業誘致が進むことは歓迎できるが、市の農業を守ることはできるのか。

**農林** 重点促進地域に農地がある場合は



安曇野インター周辺は開発可能か？

**問** 法施行を受け、誘致された企業は固定資産税を3年間免除される条例改正がされるが、税金の減収影響はないか。

**財政** 4分の3が交付税措置され、企業活動により雇用も生まれて個人市民税や法人市民税の収入増は見込まれる。

★答弁者の表記★

市長→市長 副市長→副市長 教育長→教長 総務部長→総務 政策部長→政策 財政部長→財政 市民生活部長→生活 福祉部長→福祉  
保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部



政和会 内川 集雄

### 安曇野市ふるさと納税 (寄附) に関して伺う



無会派 増田 望三郎

### 認定こども園の民営化と統廃合を考える



**問** ふるさと納税寄附、返礼品を換金できないようにする対策はどのようなものか伺う。

**総務** 返礼品に何らかの表示をするような転売防止策について、関係事業者と具体的な協議をしている。

**問** 転売防止策は、市、企業にとってもお互いにメリットはない。むだな作業はやめるべきだと考える。

**総務** 市も企業も負担は大きくなる。市は総務省に3月までに改善するということ報告をした。市の姿勢として対応していく。

**問** 視察をした中電関連企業は、企業視察資料の他に、地元自治体のふるさと納税寄附冊子を入れていた。安曇野市内企業とPRをタイアップできないか提案する。

**総務** 関係事業者の意見を聞き、可能であれば取り入れたいと考える。

**問** ふるさと納税寄附制度の第一義は、生まれ育ったまちに納税をすることだ。郵便局の見守りサービス、墳墓の見守りサービスを返礼品に加えてはどうか。



黒部ダム建設にかかわった火の見やぐら(穂高)

**総務** 市に縁のある人についても、寄附をしてもらえるように検討する。

### 安曇野市内の火の見やぐらに関して

**問** 市内の火の見やぐらには、黒部ダム建設にかかわった逸話の火の見やぐらがある。観光資源として残せないか。

**総務** 大規模なものであり、地元区、消防団と協議をしたい。

【その他の質問事項】  
○寄附型クラウドファンディングに関して

**福祉** 1年かけて民営化の諸条件の合意形成を図り、事業者を選考する。選考委員会に保護者や地域の代表にも入っていただく。

**問** 民間による三郷西部園の建て替えは、国の補助があっても事業者負担が億単位となり、地域の市民立のNPOや法人では応募できない。市が建て、より多様な事業者が応募できるようにすべきでは。

**市長** ある程度財力があれば、NPO等でも参入できるのではないかと考えて三郷西部園の廃

**問** 何を大事に考えて三郷西部園の廃



地域で始まった子供の居場所づくり

止はしないと云ったのか。

**市長** 将来を担う子供たちにとどのような幼児教育をするかという視点に立ち、廃止はしないと断言した。

**問** 三郷西部園も自然保育に特化し、人を呼び込み活力を生み出せないか。

**市長** 信州型自然保育の特化型は非常に有効ではないか。

**問** 保育拠点がなくなる地域衰退のピンチは住民意識が覚醒し、地域に活力を生み出すチャンスにもなり得る。認定こども園、放課後の児童施設、避難施設を一体的に整備し、地域づくりを進められないか。

**市長** 10年後、20年後を見据え考える。



政和会 松枝 功

### 長峰荘の今後



**問** 長峰荘の今後に関わる計画の流れに納得できない部分がある。平成27年2月策定の「公共施設再配置計画基本方針」は、市民代表の評価専門委員会から意見を聞いた上での筋の通るもの。委員会からの答申に「公共施設の再配置を具体的に検討する際は、地域住民の意見を十分に聞く合意づくりが最も必要」とあるのに、その後の10年計画案などでは、長峰荘についての廃止や譲渡という方向づけの前に、地域住民の意見を聞く場、合意づくりがなされていない。この1年で方向を出すとのことだが、「基本方針」に立ち返って地域の声を十分聞き、市全体の合意が可能になる検討がなされるのか。

**市長** 施設の老朽度や利用者減等からの方向づけも理解してほしいし、「地域の絆の場としての存続、整備を」という思いも理解する。市民と膝を交え知恵を絞り合い、全力で一定の方向を見出した。

**問** 全市民的な市民合意に向けての具体的な検討手法などの考えは。

**市長** 全市民的に声を聞く機会を設定し、地域とは区長会や長峰荘を愛する皆さんの話し合いも考える。

**問** 地域の絆づくりの場と考えると長峰荘はより地域に依拠した施設と捉えられ、地域住民がいろいろな面に関わりを持つ施設であることが求められる。逆に、市長として地域に求めるものがあるか。

**市長** 地域の絆づくりの場に、市民から参画いただくことは先駆的な協働のまちづくりの第一歩。出資による株式会社のものによる運営等ができないか、との思いもある。

**市長** 計画を立てた段階で、市民に対する説明責任が十分に果たせていなかったという反省はある。

**問** 総論賛成・各論反対の問題では、まず「総論」を全市民に理解してもらうことが重要。いたすりに「各論」に走らず、合意形成に向けて丁寧な取り組みが必要。市民と向き合い理解を求めるために、専門の職員・担当部署を置いてはどうか。

**市長** 一つの提案として内部で検討をしたい。今回の反省も踏まえ、公共施設再配置計画の裏づけとなるデータを市民に説明し、理解と協力をお願いしていく。



無会派 小林 純子

### 最重要課題の公共施設再配置どう進めるのか



**問** 対等合併して安曇野市が保有することになった多くの公共施設は、少子・高齢・人口減少時代にあつて、今後そのまま持ち続けることは困難。規模、数とも縮減していくことは市の最重要課題である。そのため公共施設再配置計画は立案まではよかったが、その後順調に進んでいるとは言えない。どこに問題があると認識しているか。

**市長** 計画を立てた段階で、市民に対する説明責任が十分に果たせていなかったという反省はある。

**問** 総論賛成・各論反対の問題では、まず「総論」を全市民に理解してもらうことが重要。いたすりに「各論」に走らず、合意形成に向けて丁寧な取り組みが必要。市民と向き合い理解を求めるために、専門の職員・担当部署を置いてはどうか。

**市長** 一つの提案として内部で検討をしたい。今回の反省も踏まえ、公共施設再配置計画の裏づけとなるデータを市民に説明し、理解と協力をお願いしていく。

**問** 望ましいPTA活動について

**市長** PTAは入退会自由な任意団体であると周知し、旧態依然とした活動内容を見直しながら、もっと参加しやすいPTAにしていく必要がある。そこに教育委員会の積極的なサポートが必要ではないか。

**教長** 任意加入については丁寧な説明が必要と考える。PTAをボランティア活動や生涯学習の場として捉えなおすことで、PTA活動を活性化させるという提案については、市PTA連合会との懇談会等の場で、市教委としても共に考えていきたい。

**問** みんなで考えよう。私たちの公共施設

みんなが考えよう。私たちの公共施設

Table with 2 columns: A (Question) and Q (Answer). Contains text about public facilities and PTA activities.

広報あづみの267号(平成30年3月21日)より

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)

# 市民の The Voice 声

## 安曇野の発展

### 安曇野

の若葉の緑、日増し色まさる頃。春夏秋冬、自然美しい中、安曇野人の美しい心に触れ合い支えていただきながら生まれ育ち過ごしていること、年を重ねることに感謝し、誇りに想っており、自然環境に恵まれている反面、高齢化・少子化は避けられない厳しい現実です。

### 数年前

に区長の責務を仰せつかり、1年間貴重な体験をさせていただきました。特に区の役員選出は各地区大きな課題でした。事情・状況の有無に関わらず、廻り順で一人暮らしの高齢者が受けざるを得ないケースや、逆に高齢者の負担は気の毒と大役を受けてくださるケース、また他県から移住された若者が積極的に受けてくださるケースもあり、その寛大な御心・熱い情熱に心救われもしました。

### 高齢化

少子化問題は悲観的に捉えるより、現状下で知恵を出し合い、ポジティブな方向で心向き合う環境づくりと発展性に期待しています。



青柳 芳美さん  
(堀金)

各地区の皆さん、老若男女問わず心身共に元気な地域づくりとして一つの提案があります。

### 田畑付き

の空き家を広場・施設として利用する。そこで農産物の生産、伝統料理、漬物、伝統工芸品等作成し、収益を得る。障がい者の皆さんへの支援やお手伝いいただきながら、生きる力、生きる喜びを得る。都会からの家族に農業を通して田舎暮らしの体験施設として収益を得る。将来的に安曇野に移住となり、人口増加に繋がれば幸いです。

### 議員

の皆さんには日頃、お骨折りいただく中で、今後も安曇野市民と共に優しい距離感で向き合っていたきたいと願っております。



## 6月議会 定例会のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をあづみ野テレビで観よう！  
傍聴をご希望の方は、市議会議場（市役所本庁3階）へお越しください。  
事前予約で、無料の託児サービスをご利用いただけます。

日	月	火	水	木	金	土
					6/1	2
3	4 本会議 (開会)	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16
17	18 本会議 (一般質問・ 議案質疑・ 委員会付託)	19 委員会 (総務環境)	20 委員会 (福祉教育)	21 委員会 (経済建設)	22	23
24	25	26 本会議 (開会)	27	28	29	30

開会時間は、本会議 10:00～ 委員会 10:00～  
日程や開会時間など変更となる場合があります。

## 編集後記

◆春を告げるわさびの花が見ごろ！第90回春の選抜高校野球ではたくさんの感動をもらいました。野球に大切なのは規律、尊敬、正義。相手を思いやる高校野球の精神は、世界に誇るスポーツ文化です。我々議員も礼儀、礼節を持って日々努力したいと思います。 委員 召田義人

◆水鏡に映る北アルプス、雪形の変化、カッコウがいつ鳴き始めるか等、移ろいゆく安曇野の四季の豊かさには楽しみは尽きません。今回は市民50人の意見をお聞きました。議会だよりをよく読んでくださっている方も多く、身が引き締まる思いです。議会を身近に感じてもらえるような紙面づくりに励みます。 委員 小林陽子

### 議会広報特別委員会

委員長 林 孝彦 副委員長 井出勝正  
委員 小林陽子 白井泰彦 遠藤武文 松枝 功  
増田望三郎 藤原陽子 小松芳樹 召田義人